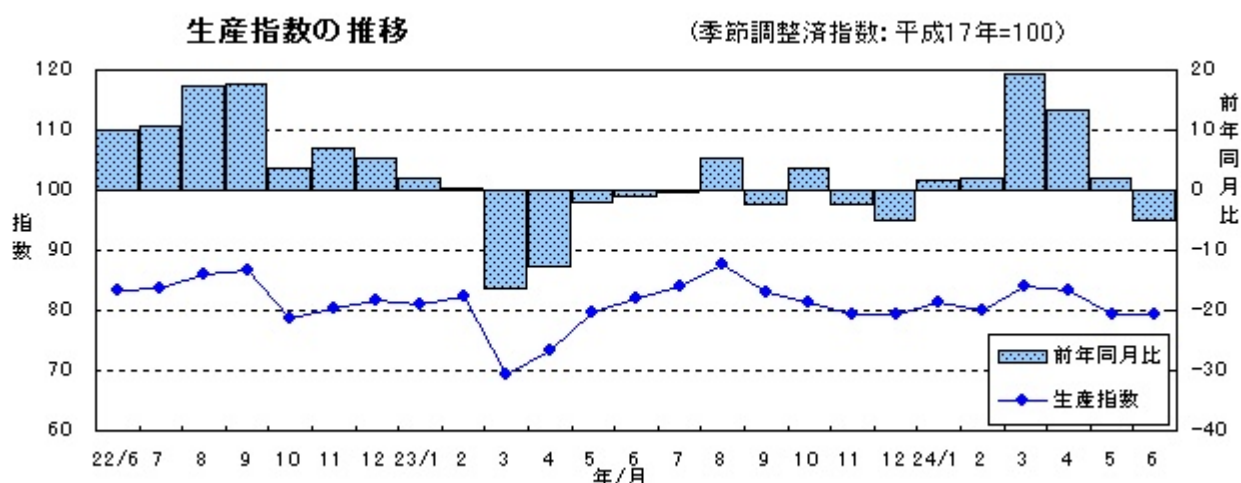


静岡県鉱工業指数 (平成24年6月分速報)

1. 生産の動き

前月比0.0%(前月と同じ)、前年同月比5.0%減(6か月ぶりに低下)

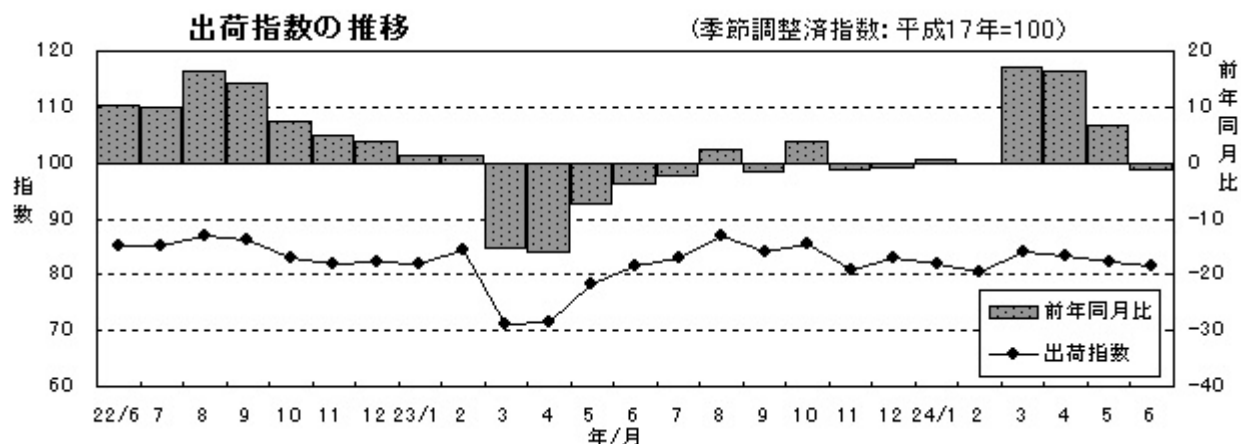
6月の鉱工業生産指数(季節調整済:平成17年=100)は79.3であった。
前月比(季節調整済指数)は0.0%と前月から変化しなかった。また、前年同月比(原指数)は5.0%減と6か月ぶりに前年を下回った。
業種別の前月比(季節調整済指数)では、化学、電気機械、精密機械等が上昇する一方、食料品・たばこ、輸送機械、プラスチック製品等が低下した。



2. 出荷の動き

前月比0.9%減(3か月連続して低下)、前年同月比1.2%減(4か月ぶりに低下)

6月の鉱工業出荷指数(季節調整済:平成17年=100)は81.4であった。
前月比(季節調整済指数)は0.9%減と3か月連続して低下した。また、前年同月比(原指数)は1.2%減と4か月ぶりに前年を下回った。
業種別の前月比(季節調整済指数)では、化学、食料品・たばこ、非鉄金属等が上昇する一方、輸送機械、窯業・土石製品、プラスチック製品等が低下した。



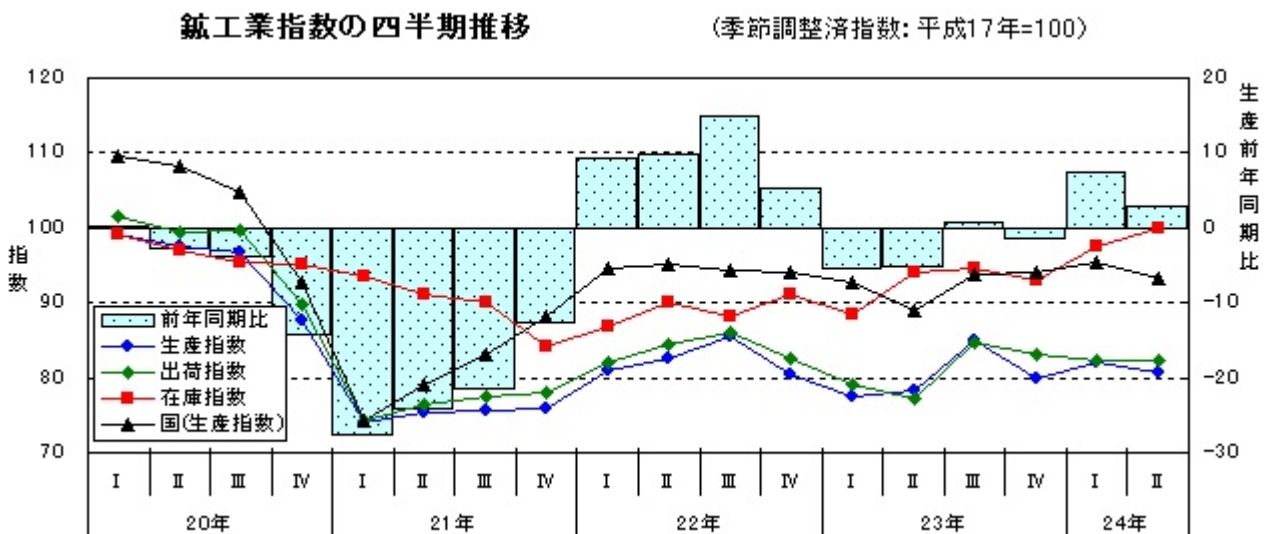
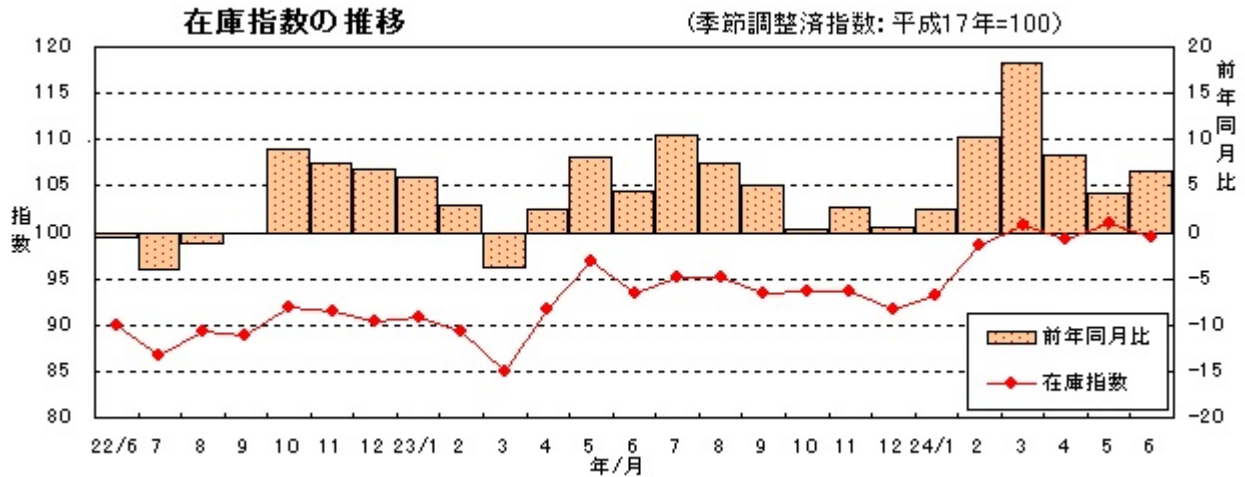
3. 在庫の動き

前月比1.4%減(2か月ぶりに低下)、前年同月比6.6%増(15か月連続して上昇)

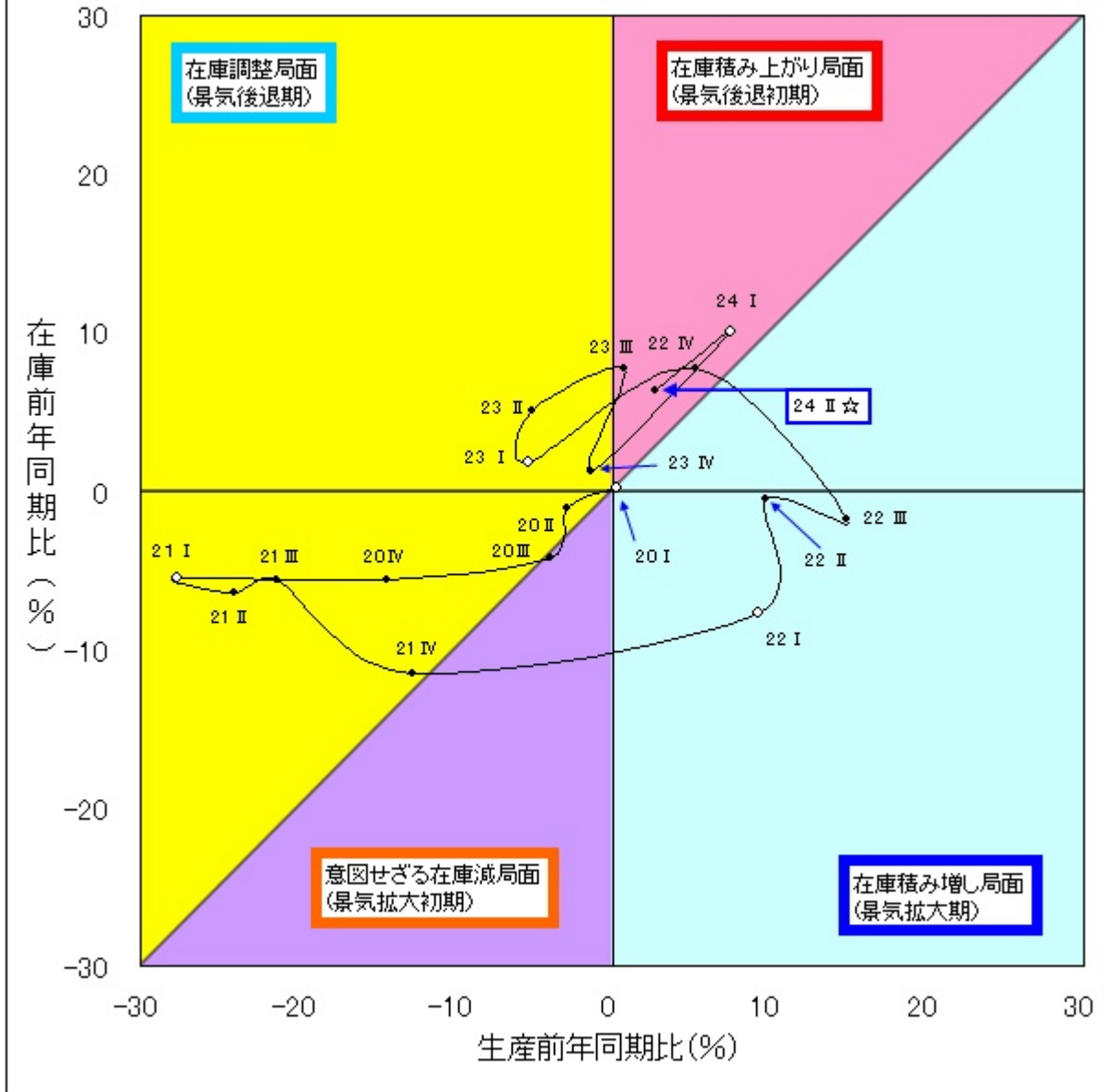
6月の鉱工業在庫指数(季節調整済:平成17年=100)は99.5であった。

前月比(季節調整済指数)は1.4%減と2か月ぶりに低下した。また、前年同月比(原指数)は6.6%増と15か月連続して前年を上回った。

業種別の前月比(季節調整済指数)では、電気機械、パルプ・紙・紙加工品、窯業・土石製品等が上昇する一方、輸送機械、化学、食料品・たばこ等が低下した。



在庫循環図



- 在庫積み増し局面 (景気拡大期)**
 需要が供給より多くなると、生産を拡大し、在庫を積み増して需要に対処する。
- ☆ 在庫積み上がり局面 (景気後退初期) ← 今季はここに該当**
 供給が需要より多くなってくると、生産の伸びが鈍化し、在庫が適正水準を超え、在庫の積み上がりが起こる。
- 在庫調整局面 (景気後退期)**
 適正水準を超えた在庫を減らすため、生産を抑え、在庫調整を図る。
- 意図せざる在庫減局面 (景気拡大初期)**
 需要の増加に生産が追いつかず、在庫が減少する。